

令和6年度地域連携・助成事業協議会及び地域連携研修会

1 日 時

令和6年11月20日（水）午後1時～同5時

2 場 所

更生保護会館4階大会議室（東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-9）

3 開催方法

ハイブリット方式（◎会場参加及び★オンライン参加の併用）により開催。

4 協議員・研修員

| | |
|----------------------|-----|
| ◎連絡助成事業を営む更生保護法人の役職員 | 14名 |
| ★連絡助成事業を営む更生保護法人の役職員 | 51名 |
| ★地方更生保護委員会事務局担当職員 | 14名 |
| ★保護観察所連絡助成事業者担当職員 | 73名 |
| ●その他研修員（関係団体職員等） | 4名 |
| ★その他のオブザーバー参加 | 14名 |

5 研修会

(1) 講演 【講師】立教大学コミュニティ福祉学部 掛川直之

「更生保護における効果的な地域連携のあり方について考える」

(2) 取組発表・意見交換

6 協議事項

(1) 令和8年度以降の「息の長い支援事業費助成」の方針

(2) 身元保証制度の見直し

連絡助成事業の現状、課題、今後の展望等について

7 概 要

法務省保護局、日本更生保護協会及び全国更生保護法人連盟の共催により、更生保護会館において協議会が開催された。本協議会・研修会は、令和5年12月に施行された改正更生保護事業法を踏まえ、今後の新たな助成事業の在り方等に関する協議・意見交換を行うとともに、全国の地域連携・助成事業者をはじめとする民間事業者の好事例を共有し、事業の現状や今後取り組むべき具体的課題について検討を行い、もって刑務所出所者等に対する“息の長い”支援の一層の充実を図ることをその趣旨としている。

全更連稲葉事務局長の司会進行により、初めにオンライン参加の押切保護局長の挨拶、全更連今福理事長の挨拶に続き、立教大学掛川准教授による講演～詳細については、スライド資料参照～が行われた後、保護局林社会復帰支援室長の進行により①ジャパンマック福岡、②抱僕、③Switch（スイッチ）、④沖縄県更生保護協会、⑤青森県更生保護協会（オンライン）の順に配付資料をもとに取組状況が発表された。時間の都合で取組状況発表後の質疑を省略し、講師のコメントを受けて研修会を終了した。

休憩後、協議会に移り、林室長の進行により①令和8年度以降の「息の長い支援事業費助成」の方針について、日更協幸島事務局長から配付資料を基に説明。次に、②身元保証制度の見直しについて、全国就労支援機構古田事務局長から配付資料を基に説明した後、

全更連今福理事長及び保護局南元振興課長から全体協議を振り返って所感等を述べて協議が終了した。



今福理事長あいさつ



研修・協議会場